

「悪魔の実」新たな顔へ

東雲高 3 年 課題研究の成果発表

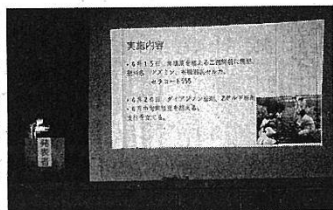
篠山東雲高校3年生21人が1年間の研究成果を報告する「課題研究発表会」が17日、同校体育館であった。アグリプロダクト、フードインスティテュート、アグリサイバスの類型ごとに、1〜2人に分かれて研究してきた17項目の成果を報告した。

アグリプロダクト類の君（西紀中出身）と君（猪名川中出身）は、「悪魔の実」と呼ばれ、鋭いトゲが特徴的な南国フルーツ「キウイ」の生育調査について発表した。「東雲高の新たな『顔』として広めたい」

2023 年 1 月 26 日
丹波新聞

と、4月から露地、ハウスの両方で栽培に挑戦。露地では24個、ハウスでは121個を収穫した。収量から、「温度の違いで成長速度と収穫量が変わった」と考察した。

で田植をせず、種もみを水田に直接まく「湛水直播」に挑戦。収量や省力化、作業コストの軽減などを検証した。殺虫剤、殺菌剤、酸素供給剤がコーティングされている種子「リゾケアX1」を使用。自ら種子を扱う会社「シンジェンタジャパン」に連絡し、社員から種子の説明を受けた。90キを収穫したが、中には倒伏した稲もあった。「播種量が多かったため分けつ数が少なく、根の張りが弱かった。結果は出なかったけれど、良い経験ができた。今年も挑戦する」と結んだ。コオロギパウダーの有効活用や牛の病害虫対策について研究した生徒もいた。



生徒や教諭が見守る中、1年間の課題研究の成果を報告する生徒
丹波篠山市福住で